

(3) 各施設などの利用方法

① 商店・スーパー

お店で買い物をするとき、目が不自由だと、どこにどのような商品が置いてあるのか、また買いたい商品の情報について知ることができません。

スーパーや商店に一人で行くことはできても、何か物を買ったり選んだりする際には、店員さんの力を借りることが必要になるため、サービスカウンターやレジに行き、案内を頼んだり、あらかじめ電話で買い物の案内を頼んだりします。

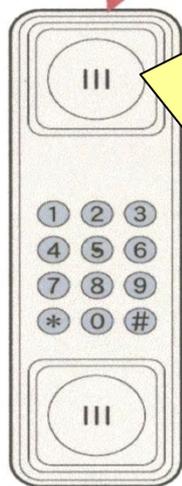
携帯電話のQRコードの読み取り機能を使って、簡単に商品の情報が得られるようにしてほしいという希望もあります。

② 銀行

目の不自由な人が銀行を利用しやすいように、銀行では各店舗の整備が行われています。中でも音声ガイダンス付きATM(現金自動預け払い機)の設置は急速に進み、大手都市銀行には、ほぼ全店に1台は設置されている状況です。ところが、店舗の入口や音声ガイダンス付きATMには、目の不自由な人を誘導する案内がまだすべて

てんぽ ふ きゅう おんせい
の店舗に普及していないため、音声ガイダンスつきATMがどこに
せっち りょう たいへん
設置されているのかわからず、利用するのが大変です。

しかくしょう しゃたいおう
視覚障がい者対応ATM



おんせい れい
(音声ガイダンス例)

『いらっしゃいませ。』

そうさ でんわ おこな
操作はこの電話で行ってください。

りょう とりひき ばんごう お
ご利用されるお取引の番号を押してください。

ひ だ あすけいれ
お引き出しは**1と#**、お預入は**2と#**、

ざんだか しょうかい つうちょう きにゅう
残高のご照会は**3と#**、通帳へのご記入は**4と#**を

お
押してください。』

きぼう きんがく お さいご お
『ご希望の金額を押し、最後にシャープを押してください。』

ていせい お
訂正されるときはアスタリスクを押してください。』

しへい みぎした しへいにゆうしゅつぐち うけ と
『紙幣を右下の紙幣入出口からお受け取りください。』

しゃしんていきょう にほん かぶしきがいしゃ
写真提供／日本ATM株式会社